

財務諸表論(会計人)Ⅰ

科目ナンバリング ACC-107
選択(会計人) 2単位

岩崎 健久

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は会計人講座の科目です。会計人講座は、選考試験に合格した学生を対象とし、公認会計士、税理士、国税専門官、全経2級、1級、上級、日商2級、1級などの簿記、会計関連の資格取得を目指す学生の勉学のサポートをすることを目的としております。本講義は、簿記の知識を踏まえながら、財務諸表論を基礎から分かりやすく説明していきます。財務諸表論(会計人)Ⅰ及びⅡを継続履修することが原則です。

2. 授業の到達目標

学生のニーズを確かめながら、全経上級、日商1級、税理士試験、公認会計士試験にチャレンジできるよう、できるだけ高いレベルの財務諸表論の知識を修得します。そして、より高度な財務諸表論の知識をもとに、事業展開に必要な資金の流れを把握し、会計数値の適切な理解と技能の修得を目指します。

3. 成績評価の方法および基準

授業への貢献度を20%程度、定期試験(授業内試験)を70%程度、学期中の資格取得の状況を10%程度にして評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

岩崎健久・平石智紀 『レクチャー財務諸表論(第2版)』 (中央経済社)

5. 準備学習の内容

常に自分のレベルにあわせて授業で行った簿記の復習をし、簿記の練習問題を解いて下さい。上記のテキストを事前に読み、予習をするようにして下さい。

6. その他履修上の注意事項

公認会計士や税理士試験などは非常に難しい国家試験です。やる気があり、必死になって勉強している学生に対しては、親身に指導していきたいと思います。毎回出席して下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 全経、日商簿記2級レベルの知識(特に商品売買取引)の確認を行います。
- 【第2回】 全経、日商簿記2級レベルの知識(特に有価証券、固定資産に関連する取引)の確認を行います。
- 【第3回】 全経、日商簿記2級レベルの知識(特に決算整理)の確認を行います。
- 【第4回】 財務会計の意義及び制度の説明を行います。
- 【第5回】 会計公準及び企業会計原則の一般原則の説明を行います。
- 【第6回】 概念フレームワークの説明を行います。
- 【第7回】 資産会計の基本原則(特に資産の概念、資産の分類)について解説します。
- 【第8回】 資産会計の基本原則(特に資産の評価基準)について解説します。
- 【第9回】 現金及び預金、有価証券について解説します。
- 【第10回】 金銭債権、棚卸資産について解説します。
- 【第11回】 固定資産、繰延資産について解説します。
- 【第12回】 負債会計の基本原則(特に負債の概念)について解説します。
- 【第13回】 負債会計の基本原則(特に負債の分類)について解説します。
- 【第14回】 引当金について解説します。
- 【第15回】 授業内試験、総まとめを行います。